

中間報告会及び最終発表会での学生から課題解決策の提案
並びに企業様から学生の提案策に対する講評
並びに課題に係る参加者アンケートの設問結果の抜粋



令和2年度 「石狩管内企業と学生との課題解決協働事業」

Sapporo Body

札幌ボデー工業株式会社

&

北海道科学大学
北海道科学大学短期大学部
+Professional

太田ゼミ・平元ゼミ



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

【札幌ボデー工業株式会社（太田ゼミ・平元ゼミ）】

○課題「部品製作工程の効率化等について」

1. 「熟練工員の技術伝承について」 2. 「工場スペースの問題について」 3. 「工作機械の稼働率について」

《中間報告》

太田・平元混合の3つのグループから上記3つの課題に対し、次のとおり提案。

1. 「熟練工員の技術伝承について」は、社内全体での交流の場を増やしアットホームな空間を築き上げるとともに、定期的な講習会の実施することを提案、2. 「工場のスペース問題について」は、他の会社でもできるような依頼は他社に外注し、FRPによる一体型のトラックなどの製造に力を入れるべきと提案、3. 稼働率と可動（べきどう）率のバランスが重要で、現状から変えるべきところがないかを今後検討し最終発表予定。

《最終発表》

太田・平元混合の3つのグループから上記3つの課題に対し、次のとおり提案。

1. 「熟練工員の技術伝承について」は、上司からの講習会や検定を通して基礎知識や基礎技術の「教育」と熟練工員からの経験やコツなどの伝承を経て、技術伝承を完成させることを提案。2. 「工場スペースの問題について」は、2階の空いたスペースを例えば、新人工員の実習スペースにするなどの案を提案。3. 「工作機械の稼働率について」は、解決策は見つからなかったが、機械の稼働率だけでなく、可動（べきどう）率も重視し、企業全体が同じ目線で課題に取り組むことが重要。そのため、現場の方を始め、社員に聞き取りを行い、『現場』と『事務』双方の観点から工場を見つめてみることを提案。

《最終発表における企業様からの講評》

非常に参考になる内容でして、是非、会社に戻りましたら、社内に展開して、皆さんの意見を改善の役に立てさせてもらいたいなというふうに思いました。1 グループ目の工場のスペース問題についてということ、技能者の育成をしていく、新人を教育していく場所として、非常に有効に使えるんじゃないかなと思います。2 グループ目の工作機械の稼働率については、溶接を減らすことができないかという観点から設計段階での改善、見直しというところも視点として入れてみてはいかがでしょうか。3 グループ目の熟練工員の技術伝承についてですけども、非常に我々も困っているところがあって、チェックシート、すごくいいなと思いました。昭和世代の職人さんが持っている技術というのは、体で覚えた暗黙知というんですけど、表に正直出てこないの、それをどうやって、明文化していくかというところを表に出して共有化させるという意味では、チェックシートなり、マニュアルというのは非常に役に立つアイテムじゃないかなと思います。

《課題に係るアンケート結果抜粋》

○企業の課題内容

(回答数：教員2名、学生11名)

	満足	やや満足	やや不満	不満
教員	2	0	0	0
	適正	やや難しい	難しい	
学生	1	6	4	

○課題に対する提案内容

(回答数：企業3名、学生11名)

	満足	やや満足	やや不満	不満
企業	1	2	0	0
	満足	やや満足	やや不満	
学生	2	9	0	

《オリエンテーション》

10月14日(水) 14時40分～
北海道科学大学G棟203室で実施

《現地フィールドワーク(企業見学会)》

10月21日(水) 13時45分～16時30分(往復の移動時間込み)
札幌ボデー工業株式会社で実施



《中間報告会》

11月18日(水) 14時40分～16時10分
北海道科学大学E棟303室で実施



《最終発表会》

12月2日(水) 14時40分～16時10分
北海道科学大学E棟403室で実施

